

かすかべ KASUKABE 議会だより

2013(平成25)年11月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第33号



放課後子ども教室（武里南小学校にて）

主な内容

主な議案の紹介	2～4	ページ
審議結果	4～5	ページ
一般質問	6～15	ページ
閉会中の委員会活動	15	ページ
傍聴して一言	16	ページ

平成25年10月1日現在

人口 239,184

男 119,246

女 119,938

世帯数 100,552

カワラナデシコ

平成24年度

一般会計決算を認定

平成24年度下水道事業特別会計決算を認定

平成24年度一般会計決算を認定

平成24年度一般会計決算の
主な内容は次のとおりです。

○主な内容

予算現額745億77万円に
対して、歳入決算額は689
億1643万円、歳出決算額
は656億5025万円とな
りました。なお、差引残額
32億6617万円は、翌年度
に繰り越されました。

○歳入の主なもの

歳入の根幹である市税は2
73億9473万円で全体の
39・8パーセントを占め、固
定資産税が減収となったもの
の、個人市民税や法人市民税
が増加するなど、市税全体で
は前年度比3810万円の増
加となりました。

次に、国庫支出金は102
億8154万円(14・9パー
セント)で前年度比6050

万円の減少、また、市債は89
億5717万円(13・0パー
セント)となり、前年度比1
億8012万円の増加となり
ました。

また、地方交付税は85億2
692万円(12・4パーセン
ト)で前年度比2億9730
万円の増加となりました。

○歳出の主なもの

歳出に占める割合の大きい
ものは、民生費が239億1
299万円で全体の36・4パ
ーセントを占め、児童福祉費、
生活保護費などが主なもので
す。次いで、総務費が106
億4276万円(16・2パー
セント)、教育費が89億37
14万円(13・6パーセント
)、土木費が69億7643万
円(10・6パーセント)、公

債費が61億9711万円(9
・4パーセント)、衛生費が
55億4675万円(8・4パ
ーセント)となりました。

【賛成多数で認定】

討 論

安定した歳入で 市民サービスの向上を 求め反対(日本共産党)

平成24年度の収入の根幹を
占める市税収入と地方交付税
及び臨時財政対策債の合計額
は合併以来2番目に多い決算
となりました。また、市の基
金総額は120億円を超えて
います。この間、市民要望に
背を向け、行政課題を後回し
にし、基金の積み立てをして
きたと言わざるを得ません。
実質的な借金が減少している
ときだからこそ、削減した市
民サービス、福祉を元に戻し、
市民負担の軽減に取り組むべ
きです。

今議会に裁判上の和解が提
案されましたが、背景には職
員不足による過重労働がある
と思います。職員をせめて平
均並みに増やすべきです。

子育て支援については、待
機児童解消のため保育所整備
に一層力を入れることが求め
られます。児童館は市の東側
に偏っており、豊春地域、武
里地域などへの設置が求めら
れます。小中学校へのエアコ
ン設置は、早急に全ての特別
教室に設置し、同時に普通教
室への設置を進めるべきです。
通学路の安全対策も進んでい
ません。

障害者福祉では、心身障が
い者の入所施設がありません。
重度心身障がい者の通所施設
も公的なものはなく、民間に
頼っています。

高齢者福祉では、要介護認
定者を対象に福祉タクシー券
を支給すべきです。また、長
寿祝金の対象年齢も削られた
ままです。

社会教育では、公民館が有
料化されたことで利用が減少
しています。図書館は司書を
増やし、充実させるべきです。
農業振興では、農家の経営
などを支援し、具体的に実効
性のある施策を求めます。

商業振興の具体策が求めら
れます。制度融資は、融資条
件の緩和などで融資を受けや
すくすることが必要です。
連続立体交差事業は、県市

の負担割合により100億円
以上の負担が必要となり、市
財政に与える影響は小さくな
く、事業の見直しが必要です。
また、市営住宅の新設や武
里団地の借り上げなどを行う
べきです。

以上を指摘し反対します。

行政課題解決に向け 効果的な財政運営に 努めており賛成(新政の会)

この決算は、先行きが不透
明な社会経済情勢の中、山積
する行政課題の解決に向けて、
効果的かつ効率的な予算執行
に努められ評価しています。

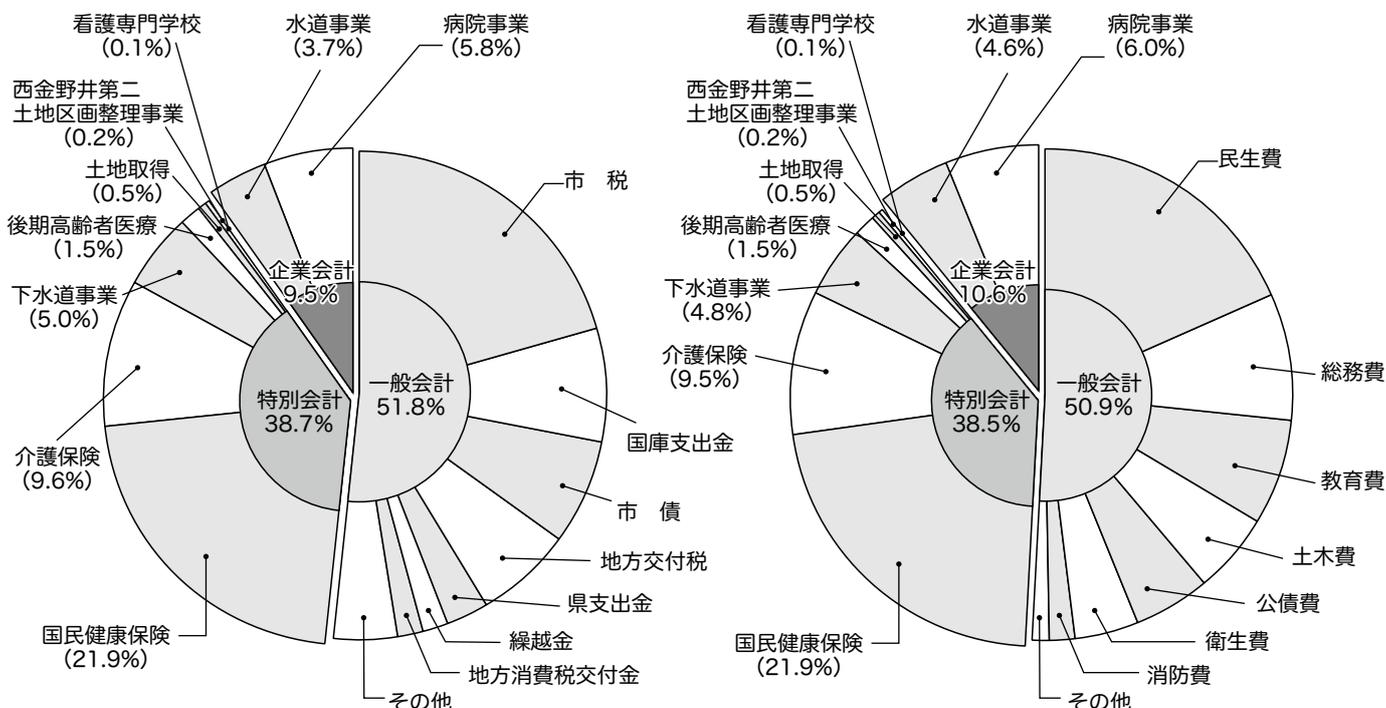
歳入では、根幹をなす市税
において、評価替えに伴い固
定資産税が減額となりました
が、扶養控除の見直しに伴う
個人市民税の増、企業業績の
回復傾向に伴う法人市民税の
増等により、市税全体では前
年度と比較し増額となりました。
今後も自主財源の確保にと
向け、さらなる収納対策とと
もに中長期的な視点に立った
取り組みに期待をします。

市債では、普通建設事業債
が増額となりましたが、市債
は貴重な財源である反面、将
来の財政運営に影響すること
から、計画的かつ慎重な借り

平成24年度 会計別決算

歳入総額 1,330億7,437万円

歳出総額 1,290億9,441万円



一般会計		特別会計		企業会計	
歳入	歳出	区分	歳入	歳出	区分
市 税	273億9,473万円	国民健康保険	291億5,566万円	283億1,047万円	水道事業
国庫支出金	102億8,154万円	介護保険	127億7,386万円	122億3,246万円	病院事業
市 債	89億5,717万円	下水道事業	66億1,581万円	62億4,722万円	収益的収入
地方交付税	85億2,692万円	後期高齢者医療	19億6,824万円	19億2,606万円	収益的支出
県支出金	38億1,610万円	土地取得	6億5,988万円	6億5,988万円	資本的収入
繰越金	24億 646万円	西金野井第二 土地区画整理事業	2億2,780万円	2億 624万円	資本的支出
地方消費税 交付金	17億2,259万円	看護専門学校	1億4,830万円	1億4,543万円	
その他	58億1,091万円	計	515億4,954万円	497億2,776万円	
計	689億1,643万円				

※計数については、それぞれ四捨五入をしているため、合計において一致しないものがあります。

入れを望むものです。
歳出では、総務費の防災費各事業において、防災対策本部及び自主防災組織等の強化等を図ったことは、災害に強いまちづくりの寄与します。
また市立病院再整備基本設計をまとめたことは、市民の健康と安心・安全の確保に向けた取り組みと評価します。
民生費では、民間保育所の施設整備補助により待機児童を減少したことは、子育て支援の充実に寄与するものです。
土木費では、南桜井駅周辺整備や藤塚米島線の幹線道路の整備が推進されたことは、産業の振興や地域の活性化、魅力あるまちづくりにつながるもので期待しています。
教育費では、東中学校の改築や小中学校の校舎や体育館の耐震補強事業など、児童生徒の安心・安全の確保に向けた取り組みが積極的に図られています。
さらに、財政調整基金は、平成24年度の決算後の残高が約41億円となり、これは年度間の財源調整や将来に向けて山積する課題を見据えたものとして、適切な措置です。
以上のとおり、歳出については、市民生活に必要な事業

を優先した効率的な予算執行がされたものと受けとめていきます。今後も限られた財源を有効かつ効率的に活用し、より一層の市民サービスに努めるよう要望して賛成します。

平成24年度下水道事業特別会計決算を認定

今回の決算は、予算現額70億4995万円に対して、歳入決算額は66億1581万円、歳出決算額は62億4722万円となりました。なお、差引残額3億6858万円は、平成25年度下水道事業に引き継がれました。

主な内容は、歳入の根幹である下水道使用料が17億6666万円、全体の26・7パーセントを占めています。また、市債は借換債の活用により、28億160万円となりました。歳出では、公債費が47億5786万円と全体の76・2パーセントを占めています。また、事業費は5億7748万円、10・6ヘクターを整備し、整備率は95・8パーセントとなりました。

【賛成多数で認定】

討論

一般財源で行うのが本来の姿であることを指摘し、反対（日本共産党）

本市の下水道受益者負担金は、県内39団体内7位と高く、下水道使用料も55事業所の中で21位と高い状況です。未接続世帯が2900世帯、約3・5パーセントあります。未接続世帯へ一層の啓発活動を行う必要があります。

下水道築造事業では、認可面積のうち95・8パーセントが整備されました。平成25年度、26年度で大袈地域を整備する予定とのことですが、八木崎、内谷、西金野井地域への整備の見通しが立っていません。整備する方向性を立てるべきです。

平成25年度より地方公営企業法が一部適用となりますが、公債費残高が434億円もあります。大幅な下水道使用料の値上げにつながることをないようにすべきです。

下水道は、衛生面をよくすることで住みよいまちをつくり、住民にとっては社会的、公共的そのものです。基本的には一般財源で行うのが本来の姿であることを指摘し、この決算認定に反対します。

未整備区域の早期整備とより一層の経営改善に取り組むことを要望し賛成（新政の会）

平成24年度の公共下水道整備事業における整備面積は10・6ヘクターを実施し、平成24年度末の総整備面積は2148・6ヘクター、整備率では事業認可区域に対して95・8パーセントとなりました。下水道事業の歳入の骨格をなす受益者負担金と下水道使用料は、それぞれ高い収納率であり、下水道未接続者も年々減少傾向となっており、また、計画的にポンプ場などの施設改修に取り組んだことは高く評価します。さらに、公債費を減らす対策として、繰上償還借換債を活用し、

財政状況の改善につなげたことは、企業会計への移行とともに経営の安定化に大きく貢献するものと考えます。

公共下水道の整備は、公共衛生の改善に大きく貢献しており、市民生活の向上には必要不可欠なものです。

今後においても未整備区域の早期整備と経営の安定化に向けた、より一層の経営改善に取り組むことを要望し、賛成討論とします。

9月定例会 審議結果

(○:賛成 X:反対)

市長提出議案

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	緑 新 ク ラ ブ	春 和 会	社 会 民 主 党	無 所 属
議案第69号	税条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○
議案第70号	都市計画税条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	手数料条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○
議案第73号	火災予防条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	ホテル春日部工ミナスに対する奨励措置に関する条例の廃止 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	財産の取得[春日部消防署武里分署災害対応特殊救急自動車及び高度救命処置用資機材] (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	財産の取得[春日部消防署備後分署災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I型] (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	裁判上の和解 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	平成24年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	平成24年度下水道事業会計資本剰余金の処分 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

9月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	緑 新 ク ラ ブ	春 和 会	社 会 民 主 党	無 所 属
議案第 80 号	平成24年度一般会計決算認定 (各委員会)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 81 号	平成24年度国民健康保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 82 号	平成24年度後期高齢者医療特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 83 号	平成24年度介護保険特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 84 号	平成24年度土地取得特別会計決算認定 (総 務)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 85 号	平成24年度下水道事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 86 号	平成24年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 87 号	平成24年度市立看護専門学校特別会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 88 号	平成24年度水道事業会計決算認定 (建 設)	認 定	○	○	×	○	○	○	○
議案第 89 号	平成24年度病院事業会計決算認定 (厚生福祉)	認 定	○	○	○	○	○	○	○
議案第 90 号	平成25年度一般会計補正予算(第3号) (各委員会)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○
議案第 91 号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 92 号	平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 93 号	平成25年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 94 号	平成25年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 95 号	平成25年度市立看護専門学校特別会計補正予算(第1号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 96 号	平成25年度水道事業会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 97 号	平成25年度病院事業会計補正予算(第2号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 98 号	平成25年度下水道事業会計補正予算(第1号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第 99 号	和解及び損害賠償の額を定める (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	平成25年度水道事業会計補正予算(第2号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

議第 13 号議案	地方税財源の充実確保に関する意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	×	○	○	○	○
議第 14 号議案	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	×	○	○	×	○
議第 15 号議案	政府の責任による東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の抜本的な対策を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	×	×	○	×
議第 16 号議案	憲法解釈の信頼を損なう「集団的自衛権」行使の容認に反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	$\frac{1}{2}$ ×	×	○	×

請 願

請願第 8 号	国保税納税額の軽減を求めるについての請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	×	○	×	×	×	×
請願第 9 号	春日部駅東西自由通路の設置を求めるについての請願 (建 設)	不 採 択	×	×	○	×	×	×	×
請願第 10 号	市民プールの設置を求めるについての請願 (教育環境)	不 採 択	×	×	○	×	×	×	×
請願第 11 号	小中学校すべての普通教室にエアコンの設置を求めるについての請願 (教育環境)	不 採 択	×	○	○	×	×	×	×
請願第 12 号	市内公立小・中学校の普通教室に「エアコン設置」を求める請願 (教育環境)	不 採 択	×	○	○	×	×	×	×
請願第 13 号	地域児童館の設置を求めるについての請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	○	○	×	×	×	×
請願第 14 号	春日部市に第3次救命救急の設置を求めるについての請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	×	○	×	×	×	×



一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

**内牧地区の市道2-41号線
大型車通行規制をして
子どもの安全確保を**



今尾 安徳
議員

市道2-41号線は、交通量が大変多く通学時間帯には子どもの安全確保のために、内牧小学校の先生やPTAの方の交通当番など大変な苦勞をして通学援助を行っています。

学校からの要望書でも、この地域での信号機設置などの要望が出されていると思います。また、国道16号交差点が五差路となっており、右折時間が短く、大型車もこの道路に曲がってくる状況です。さらに道幅が狭いため、通学安全指導に立つ保護者の方からも大変怖いという声が出ています。そこで、大型車の通行規制などの早急な安全対策が必要と考えますが、この間の地域要望と市の対応について伺います。

○学務指導担当部長

歩道の拡幅や交差点に押しボタン信号機の設置、内牧小学校前押しボタン信号機の停止線位置の移動、内牧鷺香取

神社前市道に横断歩道の設置について要望があります。

○建設部長

歩道の拡幅については、用地確保の点から難しいものと考えます。

○市民生活部長

信号機の設置については、春日部警察署に要望書を提出しています。大型車の通行規制については、春日部警察署に要望していきます。

このほか

○内牧地域に交番・駐在所の設置を

○おむつ無料化で子育て支援と子育て世代の定住促進を

**高すぎる国民健康保険税は
一般会計からの繰入金を増やし引き下げを**



秋山 文和
議員

市町村が運営する国民健康保険は、国民皆保険の重要な構成部分です。国民健康保険税が高い要因の一つに、国が財政負担を減らしていることが挙げられます。国が減らす負担分は、国民健康保険税に頼らざるを得ません。そこで、夫婦と子ども2人

の4人家族で、年収300万円の場合、収入に対する国民健康保険税の負担割合はどれくらいか。市は県平均より少ない一人当たり8567円しか一般会計から繰り入れていないが国民健康保険税を引き下げよう市からの繰入金を増やせないのか伺います。

○健康保険部長

夫婦ともに40代で、妻と子ども2人を無収入とし、世帯主である夫の給与収入が平成24年度中300万円の場合、負担割合は、11・9パーセントになります。なお、繰入額の平均を算出する際の県の国民健康保険税の額は、保険者によって繰入金をその後返したり、基金に積むなどすることから、比較は難しく、また、繰り入れを前提に算出するものではないと認識しています。

○市長

国の負担拡充・強化に関しては、全国市長会を通じて国に要望しているところです。また、国民健康保険税の一般会計からの繰入金による引き下げは考えていません。

このほか

○商工業の振興について

○市街化区域内農地の位置付けについて

消防行政の
活動の
動き



金子 進
議員

全国各地で異常気象による災害や想定できないような事件が多く発生し、さらに高齢社会を迎えた中で、市民の救急隊に寄せる期待は高まる一方です。このような状況の中、救急隊員の中には救急救命士がいて、心肺停止患者等の救命率や社会復帰率が向上しており、安心・安全な市民生活を確保する上で、重要な役割を担っています。

そこで、本市の救急出動件数の推移と出動件数増加に対する対策や取り組みについて伺います。また、救急車による迅速な医療機関への搬送対策として、県の救急搬送情報共有システムの導入について伺います。

○消防長
本市の救急出動件数は、平成22年が9616件、平成23年が10347件、平成24年が10579件と推移しており、県も全体で増加している

状況です。出動件数の増加により、救急要請が重複する際は、救急隊の効率的な部隊運用に加え、救急資機材やAEDなどを搭載した消防自動車が先行して応急措置を施すなど対応しています。県の広域災害救急医療情報システムにアクセスするための情報機器を整備するために創設された補助制度には、活用が可能になるよう内容を精査し、関係各課と協議の上、システムへの参画に努めていきます。

このほか
○開発行為に伴う生活排水について



松本 浩一
議員

石川市長の公約
「日本一幸せに子育てができるまち」を問う

本市の人口は、越谷市や草加市などの近隣市は増加しているのに、合併後3000人以上も減少しています。

転入よりも転出が増えている、出生数も出生率も減少している状況です。

これは、「子育て日本一」どころか、近隣市と比べて「子

育て支援」に対する施策が後手に回っているのではないかと云々ざるを得ません。

定住人口、とりわけ若い世代を増やすことは、本市にとって最重要課題です。

平成23年の市民意識調査によると、20歳から39歳は「子育て家庭への経済的負担の軽減、子育て環境の整備」を求めています。

本市の保育料は、県内40市で3番目に高く、春日部地域の学校給食費は県内で一番高くなっています。また、市民プールがなく、東中学校を除いて普通教室にエアコンが設置されていないなど、子育て環境の整備が不十分です。名実ともに「子育て日本一」を目指す市長の具体的施策と決意を伺います。

○市長

総合振興計画後期基本計画の重点プロジェクトに掲げた通り、子育てしやすいまちの実現に向けて、自ら先頭に立ってまい進していくとともに、組織全体で取り組んでいきたいと思っています。

このほか

○早急に学校司書の配置を
○ゆりのき橋付近の交通渋滞解消を

広域農道の安全対策と
管理の在り方と3月定例会
農道管理の請願の件について



小島 文男
議員

3月定例会で採択された埼玉葛広域農道の請願について、県が県道として認定しない理由は何か伺います。また、農業者にとつて、一般国道と何ら変わらない危険な道路となっている埼玉葛広域農道は、供用開始から長期にわたり安全対策を講じてきませんでした。

最近になり少しずつ歩道が改善されてきましたが、安全対策を早急に進めることは行政の大きな使命であることから、埼玉葛広域農道の今後の安全対策について伺います。

○建設部長

県は、県道整備事業とは目的が異なる、現在も大規模農道の役割が継続している、維持管理は市が行うと定めた上で整備したものである、県内の同様な要望も認定していないとの理由から難しいとの見解です。現在、県は農道の機能維持や向上を目的として保全対策計画を作成しています。

埼玉葛広域農道の今後の安全対策と管理は、計画が確立された段階で適正かつ計画的な維持管理を含め講じていきます。

○市長

埼玉葛広域農道は、県東部地域を縦断しており、本市にとつて重要な路線と認識しています。現在、県が作成している保全対策計画を踏まえ、関係市町と連携し、適切な維持管理に努めます。

このほか

○市道の整備について
○小中学生の減少について
○墓地、霊園、納骨堂について



埼玉葛広域農道（樋籠地内にて）

**行財政改革・土地開発公社
経営健全化について**



会田 幸一 議員

土地開発公社は、高度経済成長期には、一定の役割がありました。現在の社会情勢や経済状況の中では、役割を終えたという認識のもと、解散を決めている自治体も多くなっています。

そこで、①本市は現在、簿価総額が標準財政規模の0・28で、「第一種公社経営健全化団体」に該当しますが、国の経営健全化対策を実施する

のか、財政や事業に対する影響をどのように考えているのか。②市の財政運営に大きな影響を与えないよう配慮しながら、独自の処分方針を立てるべきと思いますが、どのように考えているのか。③買い戻した代替地の処分については、思い切り良く公売なども検討すべきと思いますが、市の考えを伺います。

○財務部長

国の第3次土地開発公社経営健全化対策の条件では、市

の財政負担が大変大きくとなると考えており、今後、新病院の建設や老朽化した市有施設への対応などから実施することとは難しい状況です。独自の処分方針では、決算時の剰余金や年度末の不用額などの補正予算で、市の財政運営に影響を与えない範囲で買い戻しを行う方法も検討したいと考えています。なお、代替地は活用の可能性を十分に検討した上で、活用の見込みのない事業用地については、事業課が買い戻しを行い、その後普通財産として公売するなど庁内で検討していきます。



土地開発公社
Public Development Corporation
財政課
Finance Section

市役所土地開発公社

**ゲリラ豪雨
対策について**



蛭間 靖造 議員

近年、ゲリラ豪雨と呼ばれる大雨が日本各地で多発しており、本市でも8月6日にゲリラ豪雨に見舞われ、ユリノキ通りのアンダーパスや春日部郵便局の交差点付近などが道路冠水を起こし、テレビ報道されました。

そこで、3点伺います。

①現在、中央町第1公園に、新病院を建設するため、道路設計を行っていると同つていますが、新病院の周辺道路の大雨に対する対策について、伺います。②市内の多数の場所ゲリラ豪雨による被害が発生していますが、大雨の対応について伺います。③市役所周辺の雨水を古隅田川へ放流していくのは、いかがでしょうか。

○建設部長

新病院の建設に合わせ、外周道路の詳細設計を実施し、大雨時においても救急自動車などが円滑に通行できるように

道路の高さの調整や雨水を貯留する等の道路冠水対策を検討しています。市内のゲリラ豪雨対策は、一部のポンプ場では、事前に水路の水を排水し、水路内にためられる水量を増加させる等の対応をとっています。市役所周辺の雨水排水には、春日部公共下水道計画の中の雨水整備計画により、安之堀川へ排水する流域となつていきますので、古隅田川へ放流することはできません。

このほか

○交通信号の改良について

○夏まつり開催後の清掃について

徳育について



栄 寛美 議員

教育は、知育、徳育、体育と言われ、そのどれもが重要です。特に徳育を通じて、身につけるべき事柄は、父母や祖父母などを敬い、家族を愛すること、思いやること、できる想像力、感謝する気持ち、他者と共感できる心の育成、規範意識を持ち、やっつてはな

らないことを認識できること、公共性に関する意識を持つこと、謙虚な心を持ち年長者の考えに謙虚に耳を傾けること、情報メディアの正しい接し方やインターネット等の利用の常識を持つことなどが大事です。また、徳育には、家庭の役割が大きく、大人社会が子どもたちにとって良い手本になつているか、あらためて見つめ直すことも今、必要と思いますが市の考えを伺います。

○教育長

徳育は、道徳性や理性を養うための教育として生きる力を育て、豊かな心をはぐくむ上から極めて重要なことと考えています。本市では知徳体の学びの基本を春日部メソッドと名付けて、全教育活動を通して「伝え合い」、「学び合い」、「育ち合い」、「思い合い」がうれしい教室の実現を目指しています。家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てることを基本に、道徳性や理性を持った心豊かな児童生徒を育てることが春日部における徳育の目指すものであり、意義であると考えています。

このほか

○熱中症対策について

○商店街の活性化について

**職員窓口業務について
「おもてなしの心で」**



荒木 洋美 議員

日本の「おもてなし」という言葉は「心を込めて客の世話をす」との意味があります。寄居町では窓口業務を行う上で各課から若手職員を集め、おもてなしの取り組みを調査研究して、「一課一品YORI YOIおもてなし運動」を行っています。

本市としても、おもてなしチームをつくり調査研究をして、独自のおもてなし運動を行ってみたいでしょうか伺います。

また、市民サービス向上のために講師を招き、窓口業務改善の講演会や民間事業所での接待の研修を提案しますが市の考えを伺います。

○総務部長

本市では、「ようこそ春日部へ、ひろがれ笑顔」をキャッチフレーズとした職員接遇マニュアルを作成し、「気配り」、「親切」、「明るく」をモットーに、心のこもった対応ができるよう積極的に取

り組んでいます。

接遇研修の講師についても民間企業で経験豊富な講師を招き、より実践的な研修を実施しています。

また、民間事業所での接遇研修については、受け入れが可能であれば、積極的に取り組んでいきます。

このほか

- 市民の健康について
- 防災訓練について
- 粗大ごみ処理券の取り扱い所について

○開通した藤塚米島線及び南桜井駅前南線の安全対策について

**今後の都市計画道路の
在り方について**



英明 滝澤 議員

本市の都市計画道路は全体で32路線、延長約75キロメートルあるうち、約47キロメートルが整備済みで、整備率は約62パーセントです。これは国道、県道を含んでおり、市が都市計画の決定権を持つ路線は21路線、延長約28キロメートルありますが、約12キロ

メートル、約43パーセントが未整備です。

40年以上未整備の現実を見ると計画区域内にお住まいのかたがたは、土地利用は可能ですが、建物の階数や構造などに一定の制限があり、長期にわたって整備時期などの方向性も示されていません。

このほか

- 道路計画の課題の認識②道路の必要性の検証や見直し③今後の整備方針について市の考えを伺います。
- 都市整備部長

都市計画道路の整備は、財源が限られることや実施段階で用地費や補償費が折り合わないなど長期化している状況ではありますが、未着手あるいは未整備区間があることは重要な課題と認識しています。

また、社会状況やまちづくりの方向性、新たな課題など計画決定当時と大きく変化していることから適正な見直しが必要であると考えています。

このほか

- 印刷業に従事する従業員の胆管がん発症の現状と労働災害について

**春日部市内工事に
税金の無駄遣いは
無いかについて**



井上 英治 議員

当初は良かれと考えて行った事業でも無計画性、見通しの甘さから税金の無駄遣いとなった過去の事例を2点伺う。

- ①閉鎖中の春日部駅東口第1自転車駐車場の設置経緯と内容、安全対策、今後の方針等について
- ②春日部駅西口改札前の屋根は豪雨時に雨漏りして役に立ちません。緑石まで拡張し迎車待ちできるように要望します。この他の例では中央町第4公園改修は無駄遣いの象徴となる。構想は撤回しふじ通りのカラー舗装やふれあいキューブへの空中歩道を優先すべきだ。駅西口広場噴水撤去も鉄道高架着工時には無駄だったと必ず後悔する。

○市民生活部長

駅東口第1自転車駐車場は、自転車駐車場整備センターと協定書を締結し、平成2年から事業費約3億円、収用台数709台で開始し、平成17年に市に無償譲渡後、同年4月

に閉鎖し、出入口は2重ロックで管理しています。今後は、関係部署と協議してまいります。

○建設部長

西口改札前屋根の雨漏りは、速やかに補修を行います。

○鉄道高架担当部長

中央町第4公園は中心市街地まちづくり計画エリアに含まれ、にぎわいの創出等のイメージとして検討しています。

このほか

- 春日部市立市民武道館の利便性向上について
- 漫画「はだしのゲン」は春日部市内の小中学校でどのように扱われているか



春日部駅東口第1自転車駐車場

早期発見早期治療の ために人間ドック 助成制度の再開を



大野とし子
議員

人間ドック助成制度再開は市民要望も強く、平成23年度市民アンケート高齢者の健康づくりにおいて健康診断、健康相談体制の充実を求める声が全体の54・3パーセントとなっています。人間ドック助成制度は、平成25年度に幸手市、羽生市が開始し、40市中33市が行っています。多くの自治体が人間ドック助成制度を継続していることを、どのように考えているのか伺います。総合的検診、早期発見早期治療という観点から人間ドックは重要であり、助成制度の再開をしてほしいと考えますが、市の考えを伺います。市民の命を守るために人間ドック助成制度の再開の決断をしてほしいと考えますが、市長の考えを伺います。

健康保険部長

人間ドック事業の補助は、それぞれの保険者の判断によるものと認識しています。本

市の特定健康診査は、市独自の項目を追加して、人間ドック同等程度の検査内容となっており、春日部版人間ドックと言える内容となっていることから、人間ドック補助の再開は考えていません。

市長

特定健診や各種がん検診を行っていることから補助事業の再開は考えていません。

このほか

○庄和北部地域にコミュニティーのための公共施設を早急に

○空き地及び空き家等管理の適正化に関する条例の制定を

総合振興計画 前期基本計画の評価と 今後の展開について



史丸 裕
議員

今年度から後期基本計画がスタートしていますが、前期基本計画の取り組みの達成状況をどう分析評価していますか。その中でどのような課題があり、どのように取り組めますか。また、石川市長は6月定例会で市長選への出馬表明をされ、今後の市政運営

消防行政について



河井 美久
議員

消防の役割は、火災現場での消火活動だけでなく、地震等の災害の防除など、あらゆる災害に対して活動していることと思います。

そこで、消防車の出動態勢については、どのようになっているのか伺います。

また、住宅などの火災で周囲の建物に燃え移ってしまう場面を見かけますが、類焼してしまうことは、何か原因があると思います。消防の考えを伺います。

消防長

消防車の出動態勢については、火災出動計画を定め、災害に出動すべき消防車の台数を設定し、活動に反映させています。住宅火災の通報を受けますと、消防車両など、必要な車両が8台程度出動する仕組みとなっています。その後は、火災の規模や現場の状況により車両を増減しています。

類焼火災の原因については、119番通報の遅れなどが影響していると考えています。火災現場における活動は、多様な災害に対応できるマニュアルや、各隊員の現場で培いました経験を駆使して活動しています。消防の活動方針としても、人命救助を最優先するとともに、延焼阻止活動にも力を注いでいます。

また、隊員の教育状況についても、実際に発生した火災あるいは今後発生するかもしれない火災を想定した机上における訓練や、実践的な訓練を繰り返し精励しています。



春日部消防署の消防車

投票所入場券に 宣誓書を



栗原 信司 議員

選挙に関する市民の関心を集めるための話題作りの一つとして、そして、市民の投票に関する利便性向上のための提案として、期日前投票などの際に必要な宣誓書を投票所入場券の裏側に印刷することや、同封して郵送、広報かすかべに宣誓書のページを作ることで、または公民館等の公共施設にあらかじめ置いておくことはできないものか、伺います。

○選挙管理委員会事務局長
入場券の裏側に宣誓書を印刷する場合、宣誓書が小さく、記入しづらいなどの課題があり、入場券に宣誓書を同封する場合にも、圧着はがき方式から封筒方式に変更すること、それに伴う電算システム改修などが必要となります。

さらに、広報かすかべに宣誓書のページを織り込む場合、国政選挙には、期間的に間に合わないなどの課題もありま

す。いずれもご提案の趣旨には賛同しますが、現実的には実施は難しいものと考えています。

ご提案の公民館等の公共施設に宣誓書を置くことは、有効な手法の一つであり、10月20日執行の春日部市長選挙から実施できるよう関係部署と調整してまいります。

このほか

- 火災基金条例の制定について
- 冠水対策について
- 災害時におけるペット対策について
- 交通安全対策



投票所入場券と期日前(不在者)投票宣誓書(兼請求書)

人口減少 対策について



佐藤 一 議員

本市の総人口は、平成24年12月から24万人を切っています。国立社会保障・人口問題研究所では平成22年の国勢調査の結果に基づき本市の将来人口を想定しており、平成47年には20万人を下回ると予想しています。生産年齢人口が減少すると財政的にも厳しくなりますが、市政運営をどのように進めていくのか。また、今後、市の魅力を見いだし発信していくための具体的な対策を伺います。併せて人口減少社会に伴う市政運営について、市長の考えを伺います。

○総合政策部長
人口減少は、市税収入や地域の活力に大きな影響を及ぼすため、総合振興計画後期基本計画の重点プロジェクトに位置付けた事業を執行部一丸となつて取り組んでいきます。市の魅力発信のためシティセールス戦略プランを作成し一貫性のあるシティセールスを

進めていきます。また限られた財源で安定的な行政サービスを提供するため、第2次行政改革大綱に基づき効率的で効果的な行政運営を進めます。

○市長
今後のまちづくりについては、短期的な視点や長期的な視点など幅広い視点を持ちながら、どこよりも選ばれるまちの実現を目指し、一つ一つの施策にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

- 大落古利根川を活用したまちづくりについて
- 学校給食と食育について

春日部駅西口交流広場等整備事業とムクドリ対策について



岩谷 一弘 議員

春日部駅西口整備等について、以下質問します。①春日部駅西口交流広場等整備事業の概要と効果について②駅周辺のムクドリ対策について

○鉄道高架担当部長
まず西口改札口付近の歩道の拡幅です。これにより、通行者の安全性が高まるものと

考えています。次に、老朽化して使われなくなった噴水の撤去です。噴水は、地元商店街からもたびたび撤去の要望がありました。さらにフジ棚を修繕し、多目的に利用できるにぎわいの場が提供できるものと考えています。最後に、これまで市民の皆さまから要望の多かった時計の設置です。時計は、タクシールール付近の植栽帯に設置します。

○建設部長
ムクドリ対策は、器具で追い払う、街路樹を剪定し防鳥ネットを覆う、ムクドリの嫌がるハーブの匂い袋を街路樹につり下げるなどの対策を行ってきましたが、時間の経過とともに効果が薄れてしまう状況でした。そこで、今年度、ムクドリの飛来時期よりも早く市役所通りの街路樹の剪定を実施したところ、一定の効果が見られ、駅前通り付近にはムクドリが寄りつかなくなりました。まだ抜本的な解決策が確立されておりませんが、根気強く取り組んでいきます。

- 内谷地区まちづくり計画について
- 新たな人材育成基本方針について

文字を認識することが
困難な児童生徒のために
デジタル教科書の活用を

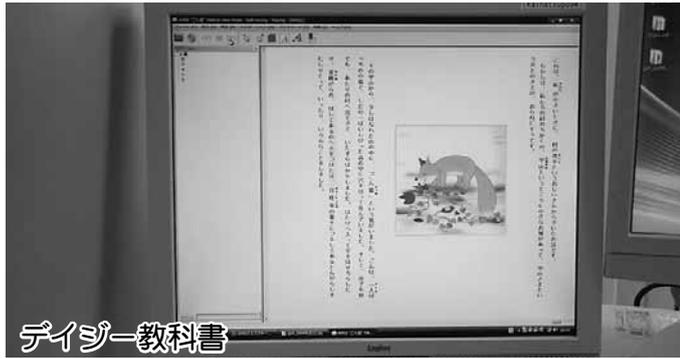


五十嵐みどり
議員

視力に問題がないのに教科書がうまく読めず困っている学習障害や読み障害といわれる発達障害の子どもがいます。見た目からは分かりにくいため、サボっていると誤解を受け、自信をなくすこともあるようです。

そのサポート方法の一つにデジタル教科書があります。このデジタル教科書は主にCDをパソコン等で使用し、音声聞きながら同時に画面上で絵や写真を見ることができま

ます。また、読んでいる箇所がハイライトされるので、どこを
読んでいるのか分かるようにな
っており、授業でこの教科書
を使い、全国で成果があが
っています。
そこで、本市においても活
用できないか伺います。
○学務指導担当部長
デジタル教科書は著作権法
により、申請した児童生徒し



デジタル教科書

日本障害者リハビリテーション協会ホームページより

か使用が認められていないため、通常学級の学級全体での使用はできません。また、使用するにはいくつかの課題もあるため、今後も活用についての研究を進めていきます。通級指導教室でデジタル教科書を導入するかについては保護者、本人、担当教員が十分協議した上で判断することが望ましいと考えています。

このほか

○災害時、自力で避難することが困難な「要援護者」の避難対策について

○国の「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて

よいこと運動を
すすめる会について



矢島 章好
議員

「よいこと運動をすすめる会」は、日常生活の中で、良いことを行った子どもたちを積極的に認め、褒めてあげることを通じて、子どもが明るく育ち、家庭や地域がよくなることを目的に、市内においてさまざまな取り組みを行っている団体と伺っています。こうした活動を広く市民の方々に知っていただくこと、また、こうした活動をする団体を奨励するため、市としてどのような支援ができるのか、団体の活動を周知し、充実するための具体的な方策等があればお聞かせください。

○社会教育部長

「よいこと運動をすすめる会」の活動が自主的な団体であることを尊重しつつ、教育委員会が後援するとともに、求めに応じた助言、情報提供などの支援を行っていきたいと考えています。また、平成23年3月に青少年育成春日部

市民会議が発行する機関紙「いくせい」で当団体の紹介を行うなどの団体間の連携もありました。

今後はこのような団体間の連携を考慮しつつ、団体の意向を確認しながら、広報かすかべや市公式ホームページ、あるいは教育委員会ホームページ等を活用して、機会を捉えて活動を紹介していきたいと考えています。

このほか

○コーディネーショントレーニングの導入について

○課題解決力をつける修学旅行の実施について

商店街の活性化
事業について



山口 泰弘
議員

商店街の街路灯について伺います。

①街路灯の設置、改修に関して国と市の補助制度ではどんなものが補助対象になりますか。②補助を活用してLED街路灯に改修した場合どのくらいの補助になりますか。③街路灯の電気料金の見直しを

行うべきですがいかがですか。

○環境経済部長

市では商店街環境施設等整備事業として、新たに街路灯を設置する場合に費用の4分の1以内の額を、改修する場合に6分の1以内の額を、1商店街当たり800万円を限度として補助しています。なお、設置した街路灯の電気料金は、10万円を超える分の30パーセントの額を補助しています。また、国では商店街まちづくり事業として、施設設備等について補助率3分の2以内、補助額は1億5000万円を上限に補助しています。既にLED街路灯の改修をした商店街の平均的な総事業費は約1400万円、国と市の補助金額の合計は1100万円となり、商店街の自己負担は300万円になります。商店街の街路灯は、地域住民の生活環境の維持にも大きく貢献していることから、商店街の負担軽減や活性化につながるよう街路灯の電気料金も含めた補助制度の包括的な見直しを検討していきたいと考えています。

このほか

○人・農地プラン、新規就農者対策について

高齢者虐待 防止について



片山い<子 議員

本市では高齢者の虐待防止のために制定された、いわゆる「高齢者虐待防止法」に基づいて、虐待の早期発見、早期対応のための種々の対策を図ることが求められています。しかし、なかなか表面化しにくく早期発見につながらない、介護や養護の放棄、心理的虐待、経済的虐待は、さらにきめ細かい対策が必要と考えますが、どのような取り組みをしているのか伺います。

また、養介護施設における虐待は、通報件数が極端に少ないことから、第三者の目が届くよう、施設オンブズマンを制度化する動きもあります。それに対してはどのように考えているのか、伺います。

○福祉部長

高齢者虐待防止見守り等支援ネットワークの中で、特に個別訪問する事業者と密に連携を取りながら情報収集に努めています。また、高齢者に

一切お金を渡さないなど金銭面での締め付けも虐待になるなどの啓発を行い、近隣のかたがたが「これは何とかしてあげないと」と思うことにつながるような地域コミュニケーションづくりを進めることが必要になると考えています。

行政主体のオンブズマン制度の導入は、中立的な立場で迅速かつ適切に対応できているかどうか、既に導入している自治体の状況などを参考に、研究していきたいと考えています。

このほか

○行政評価について

不審者から 子どもたちを守る ための対策を



渡辺 浩美 議員

子どもたちに対する不審者情報のメール配信があります。子どもは逃げて無事でしたとありますが一人で外出できなくなるなど、心は傷つきます。不審者事案の発生件数は、平成22年が42件、23年が46件、24年が61件と増えています。このような状況は早く改善し安全

な春日部にしなければなりません。地域のかたがたに尽力していただいています。市として対策を取るべきだと考えます。子どもたちが安心して通学できること、外で遊べる環境を整えることは、市の重要な役割です。発生時間が、午後3時から6時に集中していることから、地域任せにせず、この一定時間、市で人を雇用することやシルバー人材センターに委託する等して、パトロールを行うべきです。

また、たくさんの方の目が犯罪の抑止につながるから、広く誰でも無理のない程度に協力いただける方法として、買い物や犬の散歩など普段行っていることを、夕方にしていただくよう広報等で呼びかけては、いかがでしょうか。

○市民生活部長

防犯には地域の協力が欠かせませんので防犯に関する情報を発信し、防犯意識の向上を図っていきます。

○市長

子どもは地域の宝であることから地域の防犯力の向上が大切であり、雇用による対策は考えていません。

このほか

○学校のトイレを洋式に

市内公立小中学校 普通教室の エアコン設置について



武 幹也 議員

市内公立小中学校普通教室のエアコン設置については、お子さんを小中学校に通わせている親御さんをはじめ多くのかたがたから「教室にエアコンを付けてください」等の率直なご意見をいただいています。埼玉県内では小中学生の5人に2人、高校生の場合には5人に4人がエアコンの恩恵を受けています。学校環境衛生基準では、教室等の温度は10度以上30度以下が望ましいとされています。そこで、既に普通教室にエアコンが設置されている東中学校同様に平等な予算措置の観点から他の市内公立小中学校の普通教室にもエアコンを設置するべきと考えますが、市の考えを伺います。なお、エアコンが設置されるまでの期間は、扇風機を一教室に4台ずつ配置することを提案します。

○学校教育部長

普通教室へのエアコン整備

については、学校の長寿命化を図る対策の中で全体を見据えた施設整備の方向性を検討するべきと考えています。

扇風機の台数については、各学校の実情を踏まえて必要な整備に努めていきます。

このほか

○弁護士などの法曹有資格者職員の採用について

○自治会の魅力をまとめたガイドブックについて

○県営公園（仮）新たな森に「ホタルの里」をについて

○都市計画道路「上野長宮線」について

○新市立病院について



普通教室の様子（内牧小学校にて）

「日本一いきいきと 老後が過ごせる まち」を問う



卯月 武彦 議員

介護保険料の値上げや敬老祝金も対象が削られるなど、高齢者の負担は増え、サービ

スがいわれています。いきいきと老後を過ごすために、介護保険料を軽減すること、特別養護老人ホームを大幅に増やし待機者を解消す

ること、長寿記念事業の対象年齢を以前の敬老祝金の対象年齢に戻すこと、福祉タクシー券と同様の制度を要介護認定されている高齢者にも実施すること、空き店舗などを利用して高齢者の居場所づくりを行うことなどを総合的に進めてはどうか、伺います。

○健康保険部長

介護保険料は、介護保険法の規定により軽減はされていません。また、特別養護老人ホーム待機者の解消は介護保険事業計画に位置付けをし、計画的に整備をしています。

○福祉部長

敬老祝金の支給を以前の支

給対象へ戻すことや要介護高齢者の方までタクシー券の支給拡大をすることは、高齢化の進展により対象者が増加するため困難な状況です。

空き店舗を利用した高齢者の居場所づくりは、社会福祉協議会で事業を実施しており、常設の場所は考えていません。

○市長

多様な高齢者支援施策を進めることが「日本一いきいきと老後が過ごせるまち」の実現につながるかと考えています。

このほか
○小中学校のすべての教室にエアコン設置を

市民及び自治会、 事業者への「防犯カメラ 設置事業」の提案



大山 利夫 議員

松戸市は、ひったくりや空き巣等の犯罪が起りやすい

住宅街の防犯対策として、リース費用を負担してもらおうかと、民家や事業所に防犯カメラを設置する事業を11月から始めます。市民や自治会によつては、防犯カメラが必要と思つている方がいると思

ます。

また、事務所荒らし対策として、設置を望む事業者の方もいると思ひますので、今後、「自治会加入促進条例の制定」のための実態調査と合わせ、防犯カメラ設置要望の必要性を自治会連合会と共に調査することを提案しますが、考えをお聞かせください。

○市民生活部長

本市におきましても、ひったくりや空き巣は自転車盗難に次いで多い犯罪であり、犯罪の予防、検挙には防犯カメラは有効であると認識しています。

今後、松戸市の事業が開始され、その状況を調査研究する中で、事前調査も検討していきます。

このほか

- 春日部市と埼玉りそな銀行との連携協定の締結について
- 春日部市と「JAF」との連携協定の締結について
- 「支援自動販売機」の提案
- 教育行政について
- 災害発生時に全市職員の携帯電話へ招集と安否確認メールを送信する導入の提案
- 「子ども虐待防止サポートタワー養成事業」の導入を提案
- トイレシェアリングの提案

通学路の安全 対策について



小久保博史 議員

平成25年度の通学路に関する要望について、市民生活部署の対応できない理由の答弁の中で、物理的に無理な案件が多いように感じました。

しかしながら、交通指導員の配置については、必ずしもそうでないものと思われま

す。現在の体制では難しいのとこのですが、教育委員会の通学路に対する改善要望で挙がってくるのは、保護者・地域の願ひです。

交通指導員には、どのような天候でも、毎日、早朝から子どもたちを見守っていただいています。保護者だけではなく、地域の皆さまも大変感謝をしています。

そこで、より多くの交通指導員に、少しでもやりがいを感じていただくためにも、現状にあった報酬や仕組みについて、見直しが必要ではないかと考えますが、市の見解を伺います。

○市民生活部長

交通指導員の報酬については、本市交通指導員設置条例に基づき、月額報酬として2000円を支給しています。

この報酬額は、合併前の旧春日部市におきまして平成2年4月に見直しを行ったものですが、その後、平成17年に旧庄和町との合併協議を経て現行の月額2000円となっています。

しかしながら、既に合併から8年が経過しており、他市の状況も鑑み、見直しの必要性について検討していきたいと考えています。



交通指導員による交通指導

災害時の避難所 におけるトイレ 対策について



中川 朗
議員

災害時の避難所で、トイレ環境を整えることは重要です。東日本大震災では、多くの被災者が避難所などで体調を崩し死亡しています。復興庁によると、避難生活の疲労による病気等での死者数は、本年3月31日現在で2688人です。避難所での生活環境を悪化させる要因の一つがトイレ対策と考えますが、市はどう想定し、対策を進めているのか伺います。また避難所となる施設が整備される際は、マンホールトイレ用の設備が整備されることが望ましいと考えます。特に学校敷地内へ整備することが効果的と考えますが、いかがでしょうか。

○市長公室長

地域防災計画に基づき、さまざまな状況を想定しトイレ対策を行っています。公園などの避難場所は、屋外のため組み立て式トイレを備蓄しています。耐震化対策が進んで



マンホールトイレ

いる学校などの施設で下水道等が利用できない場合に備え、既存トイレにかぶせて使用できる簡易トイレを各避難所に配置しています。また避難場所でも下水道が使用できる場合、マンホールトイレ用の設備は衛生的だと認識をしています。

○学校教育部長
学校敷地内のマンホールトイレ用の設備は、防災部局の研究を踏まえ検討します。

このほか

- 生活道路における交通安全の確保について
- 子どもとインターネット社について

今定例会の日程

- 8月26日
 - 開会
 - 議会改革検討特別委員長中間報告とそれに対する質疑
 - 議案第69号から議案第100号までの上程・説明
- 8月29・30日
 - 議案に対する質疑
- 9月2・3日
 - 議案に対する質疑
- 9月5・6日
 - 常任委員会
- 9月10・11・13・17・18日
 - 一般質問
- 9月20日
 - 常任委員長報告とそれに対する質疑
 - 各議案及び請願に対する討論・採決
 - 議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決
 - 議員提出議案の選挙連合議会議員の選挙
 - 閉会

閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
 - 8月21日
 - ・平成25年9月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 7月16日
 - ・反問権の導入について
 - ・政務活動費の用途基準等について
- 8月9日
 - ・政務活動費の公表方法等について
 - ・議員定数について
 - ・本会議における討論の制限時間等について
 - ・ホームページの運用にかかわる政務活動費の活用について
- 9月20日
 - ・反問権の導入について
 - ・政務活動費の項目及び内容等について
 - ・議員定数について
 - ・中間報告書(案)について
 - ・政務活動費の額について
 - ・政務活動費の手引書(案)について
 - ・議員定数について
 - ・10月4日
 - ・政務活動費の額について
 - ・議員定数について
 - ・政務活動費の手引書(案)について

▽広報広聴委員会

- 8月21日
 - ・平成25年度の議会報告会について
 - ・議会だよりの検証について

次の定例会は 11月25日(月) 開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)です。

本会議は、通常午前10時から開催します。

- 9月25日
 - ・議会だより第33号の発行について
 - ・平成25年度の議会報告会について
- 10月4日
 - ・議会だよりの写真テーマについて
 - ・平成25年度の議会報告会について
 - ▽図書室運営委員会
 - 10月4日
 - ・平成25年度図書購入について

「議会だより」の表紙をあなたの写真で飾りませんか

平成26年5月1日発行の議会だより3月定例会号の表紙を飾る写真を募集します。

【募集写真のテーマ】「春日部の魅力を発見」

- 【応募規定】
- 1 市内で撮影された写真で未発表作品
 - 2 デジタルデータは2MB以上のJPEGデータ
 - 3 プリントはL判(横長)

- 【応募方法】
- 1 撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号を記入(任意の様式)してください。
 - 2 **3月28日(金)までに**、直接、または郵送で議会事務局までお願いします。
5MB未満のデジタルデータの場合はメールでの応募も受け付けします。
■郵送先：〒344-8577 春日部市中央六丁目2番地 春日部市議会事務局
■E-mail：gikai@city.kasukabe.lg.jp

- 【その他】
- 掲載作品の選考は、広報広聴委員会で行います。
 - 掲載時には、撮影者名、住所(町名まで)を議会だよりに掲載させていただきます。
 - 人物や個人の所有物を撮影した場合には、本人または所有者の承諾を得てください。
※他人の著作権、肖像権を侵害したような行為が行われた場合におけるトラブルの責任は一切負いかねます。
 - 写真は、モノクロでの掲載となり、必要により、トリミング等の補正を行います。
 - 掲載された写真の使用権は市議会に帰属します。
 - 選外のプリント作品については、後日返却いたします。なお、デジタルデータについては消去し、流出等無いよう扱わせていただきます。

合計	20	18	17	13	11	10	3	9	30	29	8	月日	今定例会傍聴状況
141	3	29	53	12	13	22	0	0	2	0	7	傍聴者数	主な日程
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	質疑	質疑	質疑	質疑	上程・説明		

傍聴して一言

今回初めての傍聴でしたが大変勉強になりました。機会がありましたら今後も傍聴させていたいただきたいと思います。
女性74歳

具体的な質疑・応答であり、時系列に行い、期限を設定して大変良かった。
男性81歳

一問一答は大変良かった。内容がよく理解できた。
男性78歳

意欲的に仕事をされていることに感謝します。これを職員に浸透させてください。また、自分の子どもを市職員に就職させたいと思う市にしたいです。
男性70歳

初めて聞きにきました。用語が難しくなかなか理解しにくいところもありましたが、このような質問がこうして毎日行われているのがよく分かりました。
女性52歳

※割愛させていただいた部分もあります。

市議会ホームページのご案内

市議会のホームページでは、議員名簿、会議日程、一般質問発言通告一覧表などを掲載しています。

また、会議録の閲覧・検索や、インターネットによる本会議生中継・録画中継で、議会の様子をご覧ください。

春日部市議会

検索

編集後記

暦の上では間もなく「立夏」を迎え、季節の変わり目となります。

さて、本市議会では、昨年引き続き、10月に「開かれた議会」を目指し「議会報告会」を開催しました。市民の皆さまには、ご出席をいただき、また貴重なご意見を賜りありがとうございました。

今後も議会活動について力やすくお伝えできるよう努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

広報広聴委員会

- 委員長 小久保博史
副委員長 金子進
委員 佐藤一
委員 山口泰弘
委員 松本浩一
委員 蛭間靖造
委員 片山いく子
委員 荒木洋美
オブザーバー

- 議長 山崎進
副議長 中川朗

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線 3116